

久米島ニテ養殖セシ海綿ハ取揚後海濱ノ砂中ニ埋メ數日間放置シ而出シ腐敗セル有機物ヲ洗滌シ海綿体ニ混セル砂礫及夾雜物ヲ除キ一一八〇個ヲ得タリ

ロ、漂白藥ノ種類

漂白藥品ノ種類ハ鹽酸過マンガン酸加里、碳酸炭酸曹達等ニシテ稀釋ノ割合ハ鹽酸三%過マンガン酸五%、碳酸炭酸曹達七%割合ニテ鹽酸五磅過マンガン酸加里五磅、碳酸炭酸曹達三磅ヲ使用セリ

ハ、漂白方法

右海綿ヲ清水ニ浸漬シ夾雜物ヲ除キ取り上ゲテ良ク搾リ之ヲ豫メ用意セル鹽酸液中ニ入レ殘存セル砂等ヲ除良ク搾リ清水ニ洗ヒソレヨリ過マンガン酸加里液ニ浸漬シ紫褐色ヲ呈セシ頃取上ゲテ水洗ヒナソレヲ碳酸中ニ入レ脱色シ水洗後碳酸曹達液ニ浸漬スレバ彈力ヲ増スト同時ニ淡黄色ヲ呈スルヲ以テ取揚ゲ水洗ヒヨナ乾燥シテ操作ヲ終ルモノトス。

六、宮古養殖海綿ノ取揚

宮古郡平良町松原地先ニ投入養殖セシ海綿（昭和二年三月及全年十一月投入ノ分）ヲ本年三月四百四十個取ゲシニ前年同様潮流ノタメカ上方ニ伸ビルモノ少ナリ扁平ニ成長スルモノ大部分ヲ占メ海綿トシテノ價值ニ乏依テ同方面ノ試験ハ本年度ヲ以テ打切ルコトトセリ。

二、麒麟菜養殖試験

一、趣旨

前年度ニ引續キ本試験ヲ行ヒ斯業ノ増殖奨勵ニ資セントスルモノニシテ概要次ノ如シ。

二、試験經過及結果

前年度石垣町觀音堂地先ニ於テ移殖試験セシモノハ度々ノ暴風ニ依リ種苗ハ外海ニ流出シ發育ノ状態全ク認知セラレザル迄ニ被害ヲ被リ殆ンド失敗ノ状態ニ歸シタルニヨリ同試験地ハ適地ト認メ難キニ依リ本年度ニ於ケル試験ハ全地漁業組合ト連絡ヲ取り被害ノ程度少キ同組合地先内ニ於テ試験スル事ニセリ。
尙本試験ハ組合ニ囑托シ且監視ノ任ニ當ラシメタリ。(試験地圖面ノ通り)

三、試験施行方法

投石及移殖又ハ收穫ヲナスニ當リテハ本場員ヲ派遣シ漁業組合ト連絡ヲ取り場員ノ指導ノ下ニ海士ヲ使役シテ試験作業ヲナセリ。本年ハ種苗ノ都合ニ依リ剝舟ニテ五隻分丈ケ購入シ前年同様ノ方法ニテ試験セルモ同試験地底ハ枯死セル珊瑚石多量ニアルヲ以テ投石ハ行ハズ種苗ノミ前記珊瑚石間ニ散布セリ。

四、試験囑托條件

囑托條件次ノ如シ

- 一、本試験囑托期間ハ昭和五年九月ヨリ全七年十二月迄トス。
- 一、試験場所ハ石垣町釜石地先トス
- 一、試験施行ニ要スル費用ハ囑托者ノ負擔トス。
- 一、試験期間中ハ月々手入シ毎月一回報告スル事。
- 一、被囑托者ハ繁殖場ノ位置ヲ明ラカニスル爲メ標識抗ヲ立テ猥リニ漁民ヲシテ繁殖場内ニ立入ラシメザル事
- 一、收穫物取揚ゲハ兩者立會ノ上且收穫高ハ兩者折半トス。
- 一、試験成績可良ノ時ハ終了後組合ニ於テ該施設ヲ繼續スル事。

五、試驗場所ニ於ケル水溫比重

日	時	天候	雲量	風向	風力	氣溫	水溫	比重	備	考
昭和五年九月十日	午前十時	晴	三	南東	2	二九、五	三〇、〇	三、〇	現場比重	
九月十一日	午後	晴	四	東	1	二七、五	二九、五	二、八		
九月十二日	午前十一時	晴	二	南東	1	二九、〇	三〇、〇	三、五		
九月十三日	午後四時	雲	七	南	5	二八、〇	三〇、〇	三、九		

三、高瀨介養殖試驗

一、趣旨

輓近貝卸ノ需要益々盛ントナリシモ之等卸ノ原料ハ凡テ濠洲及南洋ヨリ輸入セラレテ其ノ年額六百萬圓内外ニシ財界不況ノ今日國家的見地ヨリスルモ默シ難キ事情アルヲ以テ之レガ増殖ノ方法ヲ講ジ輸入ノ防遏ヲ計ルハ下ノ急務トス然ルニ本縣沿岸各地ニハ幸ニシテ之等原料貝比較的多量ニ生産シ殊ニ本縣産介ハ濠洲及南洋産ノノヨリモ遙ニ品質優良ナルヲ以テ進ンデ之レガ増殖ノ途ヲ計ルニ於テハ國家經濟ニ及ボス影響甚大ニシテ且ツ縣産業振興上甚ダ緊要事ト認ムルヲ以テ本年度ハ八重山郡石垣島ニ於テ豫備的試驗ヲ行フ事トセリ。

二、試驗計劃

八重山郡石垣島ハ縣下ニ於テ貝卸ノ原料タル高瀨介廣瀨介蝶螺等ノ多産地ニシテ同漁民ハ殆ンド終年之レガ採ニ従事シツ、アリテ之等貝類ノ繁殖ノ如何ハ經濟上同漁民ニ及ボス影響少ナカラズ然ルニ之等貝類ニ對スル繁